| 学校番号 | 210 |
|---|---|

# 令和８年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | 数学Ⅱ演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 問題集ステップアップノート　数学Ⅱ　（啓林館） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 授業に必要なものは忘れてはいけない。隣の席の生徒に見せてもらうことは許可しない。
② 毎回の授業で課される宿題は，大切な授業の復習となるのでしっかりと取り組むこと。わからない問題については，クラス内で理解している者に尋ねて解決するのが一番良いが，教科担当者に質問に来るのも良い。内容を納得することが重要。
③ 授業内容の理解を助けるためには，授業前の予習が必要である。
④ 問題を解く際には，図や途中式など，解答に至るまでの経過を必ず明記する。
⑤ どうしても解らない問題（目安として，10 分考えても解答の方針がたたないもの）については，解答を見ても構わない。解答を読んで，理解し，もう一度何も見ないで自分で解いてみる。

## 2　学習の到達目標

(1) 数学Ⅱの基礎的な学習事項について、全体の復習にとどまらず、さらに内容を掘り下げ、理解を深める。
(2) 基礎的知識の習得と技能の習熟をはかり，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、応用力を養う。入試問題にも対応できるようにする。
(3) 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにし、それらを活用する態度を育てる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。数学における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身につけている。 | 事象を数学的に考察したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 | 数学の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的根拠に基づいて判断しようとする。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 数学Ⅱ | 複素数と方程式 | a: 負の数の平方根を理解し、複素数の四則計算ができる。<br>b: 整式を１次式で割ったときの余りについて、剰余の定理を用いて考察することができる。<br>c: 高次方程式の解き方について関心をもつ。 | 定期考査 | 定期考査 | ノート提出<br>小テスト<br>観察 |
| | 数学Ⅱ | 図形と方程式 | a: 直線上において、2 点間の距離，線分の内分点、外分点の座標が求められる。<br>b: 線分の内分点・外分点の公式を統一して捉えることができる。<br>c: 数直線上における 2 点について、内分点・外分点、およびその距離を求めようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | ノート提出<br>小テスト<br>観察 |
| 2学期 | 数学Ⅱ | 図形と方程式 | a: 与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。<br>b: 2 つの円の位置関係を、動的な面から、幾何的に観察することができる。<br>c: 不定方程式の満たす解を、座標平面上の点の集合として捉えようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | ノート提出<br>小テスト<br>観察 |
| 3学期 | 数学Ⅱ | 微分と積分 | a: 不定積分・定積分の定義や性質が身についている。<br>b: 面積を求める際に、グラフの上下関係・積分範囲などを図を用いて考察している。<br>c: 微分と積分の関係について考察しようとする。 | 定期考査 | 定期考査 | ノート提出<br>小テスト<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度